

FMV- STYLISTIC TB10/B
TB10/S

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

本書をお読みになる前に	2
1. 必ずお読みください	7
梱包物の確認	7
使用上の注意	7
電源を入れる前に	7
電源を入れる	9
セットアップ	10
電源を切る	12
2. 必要に応じてお読みください	13
ご購入時の設定に戻す	13
リカバリ概要	13
リカバリ操作	14
お問い合わせ先	17
リサイクルについて	18

FMVマニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報
サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) の『FMV
マニュアル』に記載されています。

『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」
から参照してください。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、『安全上のご注意』およびマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製
 - 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
- 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 保証の範囲
 - 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイスイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイスイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイスイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイスイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「SupportDesk」を用意しております。
お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお申し込みください。

■ Support Desk

ハード障害発生時の修理を行う「Product 基本／基本 24」に加え、お客様のご要望に応じて 2 つのオプションメニューをご用意しております。また、価格面でよりお得な「保証アップグレードバック」や「ビックアップ&デリバリ」もございます。

- ・ **Product 基本／基本 24**：オンサイト修理、情報提供
専用窓口をご用意し、障害発生時のスムーズな受付を行います。
受付は [基本]：月曜日～金曜日の 9:00～19:00（祝日、年末年始を除く）、[基本 24]：24 時間 365 日
受付後、専任スタッフがお客様先に訪問し、速やかに修理を行います。
障害対応履歴については、お客様専用ホームページにてご確認頂けます。
- ・ **PC ソフトサポート（オプション）**：ソフト QA 対応
パソコンのブレイクインストールソフトウェアについて QA 対応を行います。
- ・ **PC 定期点検（オプション）**：定期点検
定期的に次のような予防保守を行います。
 - 点検、整備、摩耗部品交換（消耗品は対象外）
 - 清掃、調整等
- ・ **保証アップグレードバック**：オンサイト修理
保証期間分の割引価格をあらかじめ想定したお得な修理サービスのバック商品です。（各 3、4、5 年バック）
商品添付の「お客様登録票」を発送するだけで、直ぐにサービススタートが可能です。
- ・ **ビックアップ&デリバリ**：引取修理
訪問型修理ではなく、お客様の修理依頼にもとづきパソコンの引取修理を行なうサービスです。
「Product 基本」よりも割安な価格設定を行っております。
9：00～16：00 受付 当社翌営業日 AM 中（9：00～12：00）に引取
16：00～19：00 受付 当社翌営業日 PM 中（12：00～21：00）に引取
引取後、4～6 営業日で修理・返却します。
但し、障害の程度によってはそれ以上の期間を要することもあります。

マイクロソフト製品サービスバック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスバックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。
お客様は、最新のサービスバックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがって、当社としては、最新のサービスバックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスバック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスバックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。
なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVD ドライブ、AC アダプタなど）が含まれており、長時間連続で画面を表示させたり動作させたりした場合、早期の部品交換が必要になります。保証期間は 1 年間です（契約により異なる場合があります）。

- ・ 液晶ディスプレイは寿命とは別にご利用時間によって輝度が低下します。
- ・ バッテリパックは消耗品です。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠）の場合

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
- 連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠）の場合

- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、5GHz 帯をお使いになる場合は見通し半径 15m 以内、2.4GHz 帯をお使いになる場合は見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・ 5GHz 帯のワイヤレス LAN の屋外使用は、電波法により禁じられています。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

本書の表記

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:
↑ ↑

- ・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。

また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

- ・CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作方法の記載

お使いの機種により、マウスが添付されています。

本文中では、操作方法を「タップ」と表記しています。

マウスをお使いになる場合は、「タップ」を「クリック」と読み替えてください。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをタップし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をタップする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にタップします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「-」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「:」（コロン）の後に記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「言語 (Language)」の項目を「日本語 (JP)」に設定します。

↓

「メイン」-「言語 (Language)」: 日本語 (JP)

■キーボード、フロッピーディスク、CD-ROM の使用について

本文中の操作手順において、キーボード、フロッピーディスク、または CD-ROM を使用することがあります。

キーボードやドッキングステーションが添付されていないモデルをお使いの場合は、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) 内の「システム構成図」をご覧ください。

また、周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2003 年 12 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→ P.17）。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition	Windows XP	Windows
FMV-STYLISTIC TB10/B	本パソコン／パソコン	
FMV-STYLISTIC TB10/S		

■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ（<http://www.fmworld.net/biz/>）から行うことができます。

FMV マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、およびトラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ（<http://www.fmworld.net/biz/>）内の『FMV マニュアル』に記載されています。

『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」から参照してください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

1. 必ずお読みください

梱包物の確認

『梱包物一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元にご連絡ください。

使用上の注意

誤動作や故障を防ぐため、以下のことにご注意ください。

パソコン本体取扱上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 分解しないでください。
- 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で鞆などに入れて持ち運ばないでください。
- パソコンを持ち運ぶときは、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損する恐れがあります。
- 長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じる場合があります。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、表面も温くなるためです。故障ではありません。
- ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用条件によっては、パソコンの底面が高温になる場合があります。
- 排気孔はふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 排気孔の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近づけないでください。保存しているデータが消えてしまう恐れがあります。
- 本パソコンでワイヤレスキーボードをお使いになる場合は、プラズマディスプレイやプラズマカラーテレビの側で使用しないでください。ワイヤレスキーボードが正常に動作しないことがあります。

使用および保管に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 結露する場所

POINT

- ▶ 本製品の使用環境は温度5～35℃／湿度20～80%RH（動作時）、温度-10～60℃／湿度20～80%RH（非動作時）です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。
結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

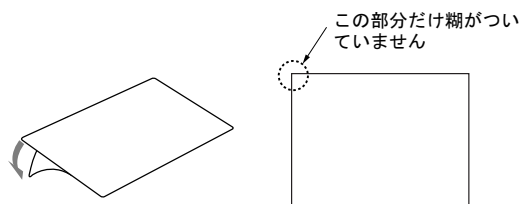
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所
- 磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するもの
- ほこりの多い場所
- 水など液体のかかる場所
- 湿度の高い場所

電源を入れる前に

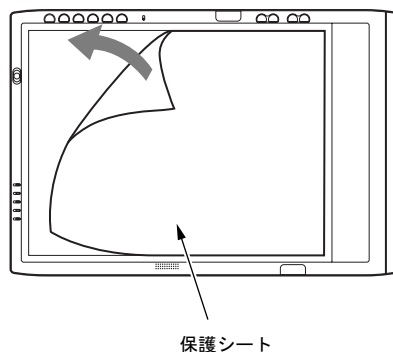
保護シートを取り付ける

保護シートを取り付けます。保護シートはディスプレイの保護のためのもので、取り付けなくてもパソコンの操作に影響はありません。

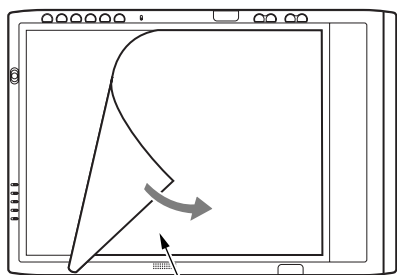
- 1 保護シートの糊のついていないコーナーが左上になるように持ち、裏側のフィルムをはがします。



- 2 保護シートの粘着面を下にして持ち、ディスプレイに保護シートを貼り付けます。



3 保護シートの表面の薄いフィルムをはがします。



保護シート

POINT

- ▶ 保護シートがはがれたり、紛失した場合は、次の製品をお買い求めください。

商品名：STYLISTIC 液晶保護フィルムⅡ

商品番号：0635890

(富士通コワーコ株式会社 お問い合わせ：03-3342-5375)

内蔵バッテリーパックを取り付ける

警告



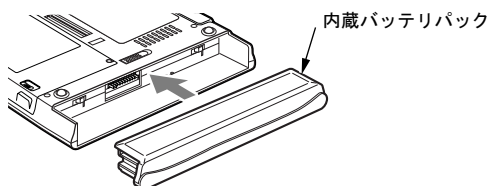
- バッテリーパックの取り付けを行う場合は、パソコン本体の電源を必ず切りACアダプタを取り外してください。また、パソコン本体やバッテリーパックのコネクタに触れないでください。感電や故障の原因となります。

- バッテリーは大変デリケートです。取り付け・取り外しを行う場合は、落下させるなどして、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリーは、使用しないでください。

感電や破裂の原因となります。

1 パソコン本体を裏返します。

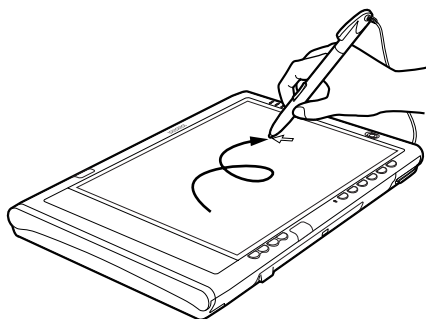
2 内蔵バッテリーパックを取り付けます。



内蔵バッテリーパックをパソコン本体と水平に差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。バッテリーパックロックは自動的にロックされます。

タブレットについて

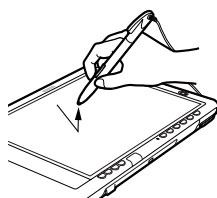
本パソコンは、画面上にペンを近づけたり、軽く押したりしてマウスポインタを操作します。



画面上でペンを移動させると、マウスポインタが移動します。

■タブレットの使い方

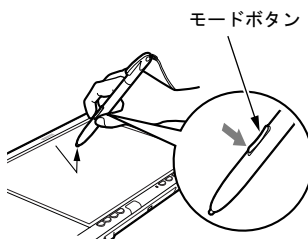
●タップ



ペンで画面を1回押します。

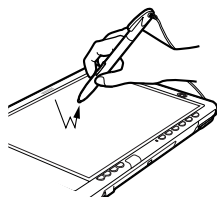
マウスの左クリックと同様の操作です。

●右タップ



ペンのモードボタンの下側を押しながら画面をタップし、離します。また、ペンで画面を長押しして「マウス」アイコンが表示されてから、ペンを離しても右タップになります。マウスの右クリックと同様の操作です。

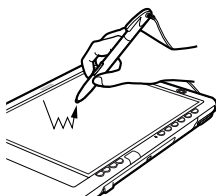
●ダブルタップ



ペンで画面を素早く2回連続して押します。

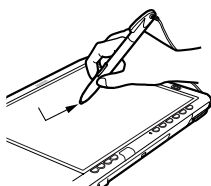
マウスのダブルクリックと同様の操作です。

●トリブルタップ



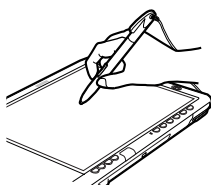
ペンで画面を素早く3回連続して押します。

●ドラッグ



画面に軽く押し付けながらなぞります。

●ポイント



ペン先を画面に近づけたり、軽く触れます。

POINT

- ▶ ペンをお使いになる場合は、力をいれて画面をなぞる必要はありません。画面に近づけるだけでマウスポインタを操作できます。
- ▶ 必ず添付のペンで操作してください。指先やボールペンなどでは操作できません。
- ▶ ペンを破損したり紛失した場合は、次の製品をお求めください。

商品名：STYLISTIC スタイラスペン

商品番号：0635092

(富士通コワーコ株式会社 お問い合わせ：03-3342-5375)

- ▶ ペン先を交換することができます。交換方法については、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「ポインティングデバイスについて」をご覧ください。

電源を入れる

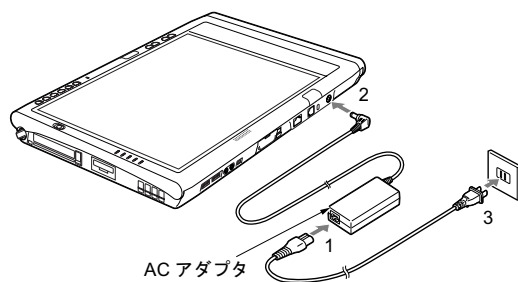
注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器（ワイヤレスキーボードとドッキングステーションを除く）の取り付けなどは行わないでください。
- 電源を入れてから、持ち運んだり、衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。
- 電源を入れる場合、フロッピーディスクドライブにディスクがセットされていたら、取り出してください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- AC アダプタなど磁界を発生する機器と FDD ユニツは離して使用してください。
- 電源を入れても画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
 - ・状態表示 LED の電源ランプ (①) を確認してください。点灯している場合は、タッチパネルに触れてください。点滅している場合は、電源ボタンを押して動作状態にしてください (4 秒以上押し続けしないでください。パソコンの電源が切れてしまいます)。消灯している場合は、電源を入れてください。
 - ・バッテリー運用している場合は、状態表示 LED のバッテリー残量表示ランプを確認してください。本パソコンご購入時やバッテリーが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

電源の入れ方

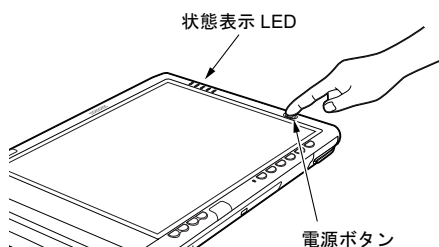
1 AC アダプタを接続します。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、プラグをコンセントに接続します (3)。



2 電源ボタンを押します。

パソコン本体に電源が入り、POST（自己診断画面）が始まります。また、状態表示 LED の①などが点灯します。



重要

- ▶ 電源ボタンは4秒以上押さないでください。電源ボタンを4秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

POINT

- ▶ POST とは、Power On Self Test（パワーオンセルフテスト）の略で、パソコン内部に異常がないか調べる自己診断テストです。本パソコンの電源が入ると自動的に行われ、OSの起動直前に完了します。
- ▶ POST中に電源を切ると、自己診断テストが異常終了したと診断されます。本パソコンでは、自己診断テストの異常終了回数をカウントしており、3回続いた場合、4回目の起動時にエラーメッセージを表示します。POST中は、不用意に電源を切らないでください。

セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

留意事項

- Windows セットアップを行う前に、次のことをしないでください。Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
 - ・ 周辺機器の取り付け（ワイヤレスキーボードとドッキングステーションを除く）
 - ・ LAN ケーブルの接続
 - ・ PC カードのセット

上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。

- セットアップ中は、画面上にソフトキーボードが表示されています。操作に応じてソフトキーボードの位置を移動してください。

- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーボードのキーを操作すると、Windows セットアップが正常に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、ペンで操作してください。

Windows XP セットアップ

- 1 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます（P.9）。

しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。

- 2 「次へ」をタップします。

「使用許諾契約」が表示されます。

「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

- 3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をタップし、「次へ」をタップします。

「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をタップした後、メッセージに従って操作してください。

- 4 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をタップします。

「コンピュータの説明」は省略できます。

また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することもできます。

「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

- 5 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。

POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- ▶ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順 8 へ進んでください。
- ▶ 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

- 6 「いいえ ...」をタップし、「次へ」をタップします。
「インターネット接続を確認します」と表示されます。しばらくすると、「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されます。

POINT

- ▶ 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順8へ進んでください。

- 7 「省略」をタップします。
「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。

- 8 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をタップし、「次へ」をタップします。
「設定が完了しました」と表示されます。

- 9 「完了」をタップします。
本パソコンが再起動する場合があります。
パスワードの入力画面が表示されます。

- 10 手順5で入力したパスワードを入力し、「→」をタップします。
「ネットワーク設定」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をタップしてください。

- 11 「Tablet PC 入門」が起動します。
「タブレットコンピューティングへようこそ」と表示されます。

- 12 「終了」をタップします。
「この入門編を完了することを強くお勧めします」というメッセージが表示されます。

- 13 「終了」をタップします。

POINT

- ▶ 「Tablet PC 入門」は、セットアップ終了後にあらためてご覧になることができます。

- 14 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をタップします。
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

- 15 「実行する」をタップします。
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。
▶ 再起動するまでの間は、ソフトキーボードやタッチパネルを操作しないでください。

- 16 「OK」をタップします。
本パソコンが再起動します。

重要

- ▶ 「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。

これで、Windows セットアップが完了しました。

POINT

- ▶ 再起動後、「Tablet PC 入門」が起動します。本パソコンをお使いになる前に、一度ご覧になることをお勧めします。

■セットアップ後

- 『FMV マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN またはモデムの設定を行ってください。
- ワイヤレス LAN をお使いになる場合は、『FMV マニュアル』内の『ワイヤレス LAN をお使いになる方へ (IEEE 802.11a、IEEE 802.11g 準拠)』をご覧になり、必要な設定を行ってください。
- スマートカードをお使いになる場合は、添付の「ドライバーズ CD」からソフトウェア「SMARTACCESS/BASE」をインストールしてください。ソフトウェアのインストール方法については、『FMV マニュアル』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。
- 「Windows Update」の実行をお勧めします。
「Windows Update」を実行すると、Windows を最新の状態に更新、修正できます。実行にあたっては、システム管理者の指示に従ってください。
「Windows Update」を実行するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。
「Windows Update」の実行方法については、『FMV マニュアル』の「ソフトウェア」－「Windows Update について」をご覧ください。

その他の設定については『FMV マニュアル』の「機能」－「セットアップ後」をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□Windows セットアップが進められなくなった

- 「電源を切る」(→ P.12) をご覧になり、本パソコンの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。

タブレットの調整

次の手順に従って、添付のペンでタッチ位置を調整してください。

■調整方法

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にタップします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をタップします。
「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウが表示されます。
- 3 「タブレットとペンの設定」をタップします。
「タブレットとペンの設定」ウィンドウが表示されます。
- 4 「設定」タブの「調整」をタップします。
画面に調整ポイント(+字型)が表示されます。
- 5 画面の「+」マークの交点をペンでタップします。
「+」マークが移動し、次の調整ポイントが表示されます。
- 6 手順5と同様に、「+」マークを順番にタップします。
合計4ヶ所をタップします。

POINT

- ▶ 調整するときは、ペンを「+」マークに正確に合わせ、てタップしてください。

- 7 「OK」をタップします。
「タブレットとペンの設定」ウィンドウに戻ります。
- 8 「OK」をタップします。
- 9 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの「閉じる」ボタンをタップします。

■留意事項

- 「+」マークの交点より外側をタップしてペンの調整を行った場合などに、ペンでタップした位置とマウスポインタの位置のずれが生じる場合があります。ペンでタップした位置とマウスポインタの位置のずれが大きいと、画面の端をタップをする場合にマウスポインタが表示されない場合があります。

その場合は、手順1～9を実行して、再度タブレットの調整を行ってください。調整するときは、「+」マークの交点より、画面の中央に向かって少し内側をタップしてください。

また、タスクバーの設定を「自動的に隠す」にしている場合は、「スタート」ボタンが表示できない場合があります。次の手順で補正を行ってください。

1. パソコン本体の「Fn」ボタンを2回押します。
「富士通メニュー」が表示されます。
2. 「タブレットとペンの設定」をタップします。
「タブレットとペンの設定」ウィンドウが表示されます。

以降、「調整方法」の手順4～9を実行してください。調整するときは、「+」マークの交点より、画面の中央に向かって少し内側をタップしてください。

電源を切る

注意事項

- 電源を切った後、すぐに電源を入れしないでください。再度電源を入れる場合は、10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 本パソコンの電源を切る場合は、接続している周辺機器から、あらかじめCDやフロッピーディスクなどを取り出してください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にタップします。

OSが終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示LEDの電源ランプ(→ P.9)が消えます。



POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。

1. 「セキュリティ」ボタンを2秒以上押します。
「タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
「セキュリティ」ボタンについては、『FMV マニュアル』の「各部名称」→「タブレットボタンについて」をご覧ください。
2. 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をタップします。
3. 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウを閉じます。

4. 電源をボタンを4秒以上押して、電源を切ってください。
- ▶ 通常の操作で表示される画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどからOSを読み込み直すことです。
 - ▶ 通常の操作で表示される画面で、「スタンバイ」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（→『FMV マニュアル』）。
 - ▶ このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、ACアダプタやバッテリーパックを取り外してください。

2. 必要に応じてお読みください

ご購入時の設定に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

BIOS セットアップを起動し、「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行します。

リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要と手順

■概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（→『FMV マニュアル』）に戻す操作です。

リカバリは、大きく2種類に分かれます。

●ご購入時の状態に戻す

現在のハードディスクの領域設定はそのまま、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

●領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す

ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。現在のハードディスク領域を変更したいときは、領域設定が必要になります。

■手順

リカバリは次の手順で行います。

□ご購入時の状態に戻す場合

ハードディスクの領域設定は現在お使いの状態のまま、Cドライブのみをリカバリします。

1 リカバリ前の準備（→P.14）

2 リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）（→P.14）

3 リカバリ終了後（→P.16）

□領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す場合

リカバリ中に画面上で確認しながら、ハードディスクの領域を再設定します。100MB単位で2区画まで作成できます。

1 リカバリ前の準備（→P.14）

2 リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）（→P.15）

3 リカバリ終了後（→P.16）

留意事項

- リカバリを行う場合は、あらかじめキーボードとドッキングステーションを用意する必要があります。
お使いの機種によっては、キーボードとドッキングステーションは添付されておりません。別売のキーボードとドッキングステーションをご購入ください。
- リカバリを行う場合は、必ずドッキングステーションを取り付けて、画面の向きを横にして行ってください。
- キーボードとドッキングステーション以外の周辺機器（メモリを除く）を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリやハードディスクの領域の変更を行うと、Cドライブのファイルはすべて削除されます。また、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してリカバリを行うと、Dドライブのファイルもすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 本書ではキーボードでの操作を前提に記述してあります。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、リカバリを行っても、Cドライブ以外のドライブはフォーマットされません。
- Windows 起動中に「リカバリ CD-ROM」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をタップしてください。

リカバリ操作

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項（→ P.14）をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■ドッキングステーションとキーボードの準備

- 1 本パソコンにドッキングステーションを接続し、画面の向きを横にします。
ドッキングステーションの接続については、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「ドッキングステーションについて」をご覧ください。

2 キーボードを準備します。

■ワイヤレスキーボードをお使いの場合

ワイヤレスキーボードの送信部とパソコン本体の受信部が、真正面に向きあうように配置します。

POINT

- ▶ ワイヤレスキーボードは、プラズマディスプレイやプラズマカラーテレビの側で使用しないでください。正常に動作しないことがあります。

■USB キーボードをお使いの場合

USB キーボードのコネクタを、USB コネクタに接続します。このとき、コネクタの向きを確かめて、まっすぐ接続してください。

キーボードについては、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「キーボードについて」をご覧ください。

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の設定に戻します（→ P.13）。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）

本パソコンをご購入時の状態に戻します。ハードディスクの領域は変更されません。

POINT

- ▶ リカバリを行うと、Cドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

次のものを用意してください。

●「リカバリ CD-ROM 1、2、3」

1 パソコン本体の電源を入れます。

2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、パソコン本体の「E-mail」ボタン、またはキーボードの【F12】キーを押します。

起動メニューが表示されます。

表示されない場合は、本パソコンの電源を切り、手順 1 からやり直してください。

「E-mail」ボタンについては、『FMV マニュアル』の「各部名称」－「タブレットボタンについて」をご覧ください。

3 ドッキングステーションに内蔵の CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM1」をセットします。

- 4 「光学ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。
リカバリメニューが表示されます。
表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。
- 5 リカバリを選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」についての説明が表示されます。
- 6 【Pg Up】【Pg Dn】キー（【Fn】+【↑】【↓】キー）（USBキーボードをお使いの場合は【Page Up】【Page Down】キー）で説明をスクロールし、内容を確認して、【Y】キーを押します。
- 7 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。
- 8 【Y】キーを押します。
しばらくするとリカバリの画面が表示されファイルのコピーが始まります。
「X 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM X」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。「リカバリ CD-ROM」は、画面に表示されたものを、セットしてください。
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
- 9 CD-ROM を取り出してから、電源ボタンを 4 秒以上押し、電源を切ります。
- 10 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.16）。

リカバリ方法

（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）

ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。

リカバリ中に画面で確認しながら、100MB 単位で 2 区画までの領域を設定できます。

この方法では、C ドライブにリカバリを行い、D ドライブに空の領域を作成します。

重要

- ▶ 領域の設定を行うことにより、ハードディスクのデータがすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM 1、2、3」

- 1 パソコン本体の電源を入れます。

- 2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、パソコン本体の「E-mail」ボタン、またはキーボードの【F12】キーを押します。
起動メニューが表示されます。
表示されない場合は、本パソコンの電源を切り、手順 1 からやり直してください。
- 3 ドッキングステーションに内蔵の CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM1」をセットします。
- 4 「光学ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。
リカバリメニューが表示されます。
表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。
- 5 リカバリを選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」についての説明が表示されます。
- 6 【Pg Up】【Pg Dn】キー（【Fn】+【↑】【↓】キー）（USBキーボードをお使いの場合は【Page Up】【Page Down】キー）で説明をスクロールし、内容を確認して、【Y】キーを押します。
- 7 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 8 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行います。
 - ・「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定できます。
ハードディスク全体を C ドライブとして設定したい場合は、【P】キーを押し、項目にチェックマークを付けます。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
 - ・「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

POINT

- ▶ 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

- 9 【Y】キーを押します。

領域の設定が行われた後、リカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。

「X 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM X」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。「リカバリ CD-ROM」は、画面に表示されたものを、セットしてください。

リカバリが終了すると、「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

- 10** CD-ROM を取り出してから、電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ります。
- 11** 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.16）。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切った後、次の操作を行ってください。

- 1** ワイヤレスキーボードとドッキングステーション以外の周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します。
- 2** 本パソコンの電源を入れます。
- 3** 以降、「セットアップ」を参照して Windows のセットアップを行ってください（→ P.10）。

セットアップ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（→ 『FMV マニュアル』）。

また、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションをインストールします。

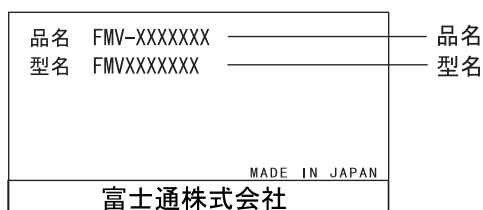
お問い合わせ先

■お問い合わせの前に

あらかじめ次の項目について確認してください。

□品名／型名の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。



□リカバリ CD-ROM の用意

本パソコンの修理を依頼する場合は、必ずリカバリ CD-ROM を添付してください。

■部品送付による修理の場合

良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡をいれさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

■連絡先

下記の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
・ 添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
・ 故障かなと思われたとき	富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『FMV マニュアル』に記載されている「トラブルシューティング」をご覧ください。 注『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」からご覧いただけます。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、または「富士通ハードウェア修理相談センター」 ^{注1} にお問い合わせください。
・ FM シリーズの技術的なご質問・ご相談 ・ 本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	・ 富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『FMV マニュアル』をご覧ください。 ・ ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『FMV マニュアル』の「トラブルシューティング」→「お問い合わせ先」をご覧ください。 それでも不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」 ^{注2} にお問い合わせください。

注1：「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・ フリーダイヤル：0120-422-297
- ・ 受付時間：9:00 ～ 17:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

注2：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・ フリーダイヤル：0120-950-222
- ・ 受付時間：9:00 ～ 17:00
(土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)
- ・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください
- ・ 両窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

●法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社では、「富士通りサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ（<http://eco.fujitsu.com/jp/>）の「富士通りサイクルシステム」をご覧ください。

●個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通りサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。

受付窓口の電話番号、お申し込み方法などについてはAzbyClub ホームページ（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

■使用済バッテリーの取り扱いについて

- ・リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリーパック、バッテリーユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーはショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリーの仕様については、『FMV マニュアル』の「技術情報」－「仕様一覧」、またはバッテリーの取扱説明書をご覧ください。

●法人・企業のお客様へ

使用済バッテリーを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話：044-754-3411）にお問い合わせください。

●個人のお客様へ

使用済バッテリーは、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従って廃棄するか、または「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクルBOXに入れてください。

詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページ（<http://www.JBRC.com/>）をご参照ください。

弊社はJBRC（小型二次電池再資源化推進センター）に加盟し、リサイクルを実施しています。



小形二次電池再資源化推進センター



このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion



このマークは、ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

Ni-MH

FMV- STYLISTIC TB10/B、TB10/S

取扱説明書
B5FH-9511-01-00

発行日 2003 年 12 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2002年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.jeita.or.jp>
をご覧ください。

